

尊敬語・謙譲語・丁寧語を見分けよう〈解答〉

解答

敬語の種類を見分ける

問1

先生は先ほど【お帰りになった】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ア

補足：先生の「帰る」という動作を高めているので尊敬語です。

問2

私は先生の作品を【拝見した】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え イ

補足：自分の「見る」という動作を低めて先生を立てているので謙譲語です。

問3

明日は校外学習【です】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ウ

補足：「です」は聞き手に対して丁寧に述べる丁寧語です。

問4

校長先生がそう【おっしゃった】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ア

補足：校長先生の「言う」という動作を高めているので尊敬語です。

誰の動作か考える

問5

生徒が担任の先生について別の先生に話します。最も適切なのはどれですか。

ア 担任の先生が明日の会議にいらっしゃる イ 担任の先生が明日の会議に伺う ウ 担任の先生が明日の会議に参る

答え ア

補足：担任の先生の「来る」という動作を高めるので「いらっしゃる」が適切です。

問6

自分が先生の研究室へ行くことを先生に伝えるとき、最も適切なのはどれですか。

ア 研究室へいらっしゃいます イ 研究室へ伺います ウ 研究室へお越しになります

答え イ

補足：自分の「行く」という動作を低めて先生を立てるので「伺います」が適切です。

問7

生徒が担任の先生について別の先生に話します。最も適切なのはどれですか。

ア 担任の先生が資料を拝見する イ 担任の先生が資料をご覧になる ウ 担任の先生が資料を伺う

答え イ

補足：担任の先生の「見る」という動作を高めるので「ご覧になる」が適切です。

問8

自分が先生の話聞いたことを先生に伝えるとき、最も適切なのはどれですか。

ア お話を伺いました イ お話をおっしゃいました ウ お話をご覧になりました

答え ア

補足：自分が先生の話聞くことをへりくだって表す「伺う」が適切です。